

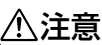
TOTO

密結形ロータンク

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全のために必ずお守りください

施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

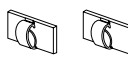
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
--	------------------	---	---------------------

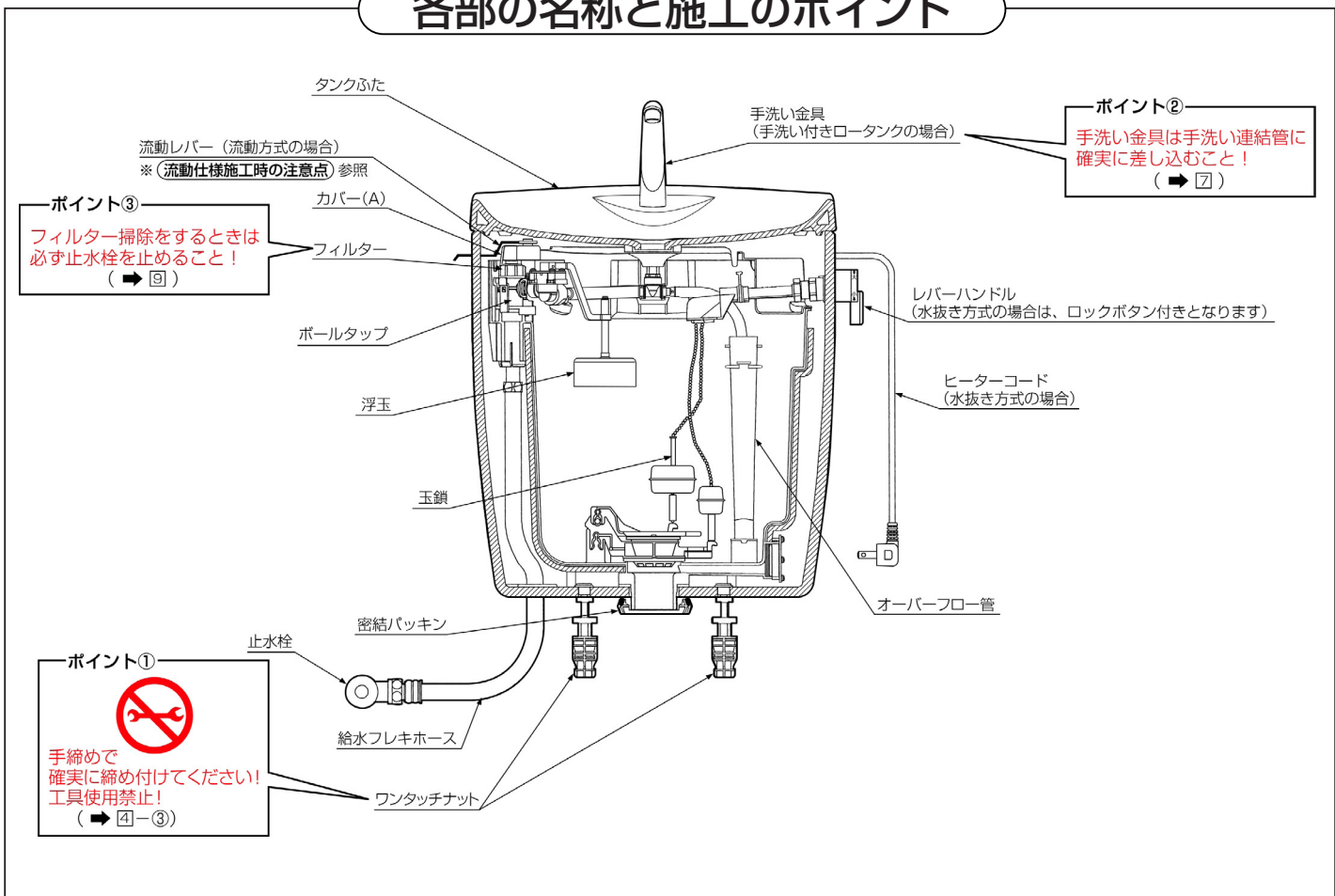
 注意	
	陶器に衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財を汚す原因になることがあります。 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらし、財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う 水圧でフィルターが飛び出してくることがあります。

開 梱 作 業

■陶器タンクから内部金具を取り出します。
※部品があるか、下記表を参照して確認してください。

名 称	個 数	略 図	備 考	包 装
密結パッキン	1個			小袋
手洗い金具	1セット		手洗い付きの場合のみ	大袋
ワンタッチナット	2個			
ウォシュレット用給水ホースクランプ	1個		ウォシュレットの給水ホース引っ掛け用 → ⑩	
コードクランプ	2個		水抜き方式の場合のみ (小袋に同梱)	
止水栓	1個		止水栓付きの場合のみ	箱入
施工説明書	1枚	本 紙		
取扱説明書	1冊			小袋

各部の名称と施工のポイント

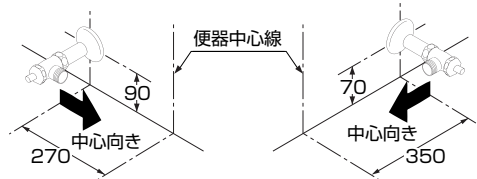


器具の取り付け

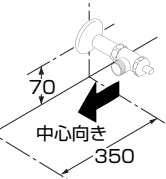
① 止水栓の向き

水抜き方式

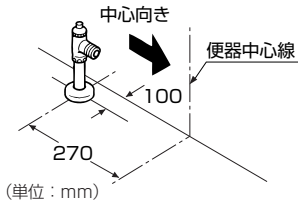
〈左壁給水の場合〉



〈右壁給水の場合〉



〈左床給水の場合〉

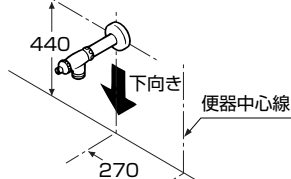


〈右床給水の場合〉

右給水の場合は、便器中心線に対し、左床給水と対称になるように施工してください。

流動方式

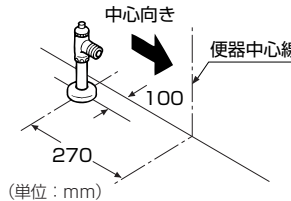
〈左壁給水の場合〉



〈右壁給水の場合〉

右給水の場合は、便器中心線に対し、左壁給水と対称になるように施工してください。

〈左床給水の場合〉



〈右床給水の場合〉

右給水の場合は、便器中心線に対し、左床給水と対称になるように施工してください。

※器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
※流動方式壁給水の場合、給水フレキホースが無理なく取り付くように、止水栓の接続口の向きを調節してください。
※水抜き方式の場合、給水フレキホースの水抜き勾配を確保できるように、取り付けてください。

② 便器の取り付け

便器に同梱の施工説明書に沿って、便器を取り付ける。

③ ヒーターコードの固定 (水抜き方式のみ)

①コードクランプ裏面の剥離紙をはがし、両面テープ面をタンク裏面にしっかりと押さえ付けて貼る。



貼付面に水分やほこりがないようにする
タンク貼付面をよくふいてから貼ってください。

②電源コードをコードクランプに通し、コードクランプのツメが「カチッ」とロックするまで押さえる。



取り付け後、コードを無理に引っ張らない
コードクランプがはがれ落ちてしまうおそれがあります。

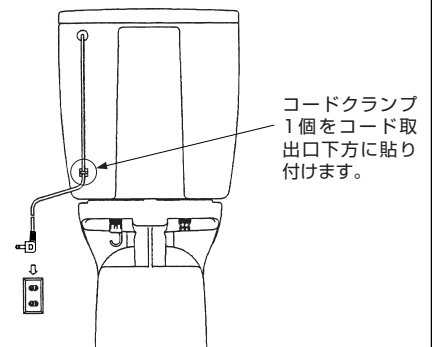


施工後、コードクランプのツメを外す場合には、手で行わない
マイナスドライバーを使用すると安易に外すことができます。

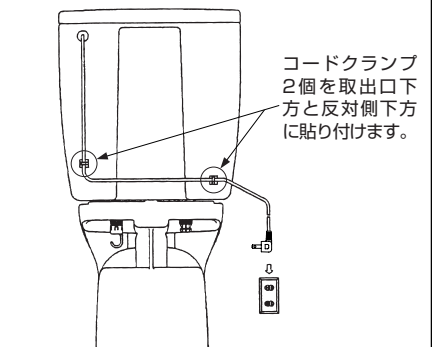
コードの配線例

(下図のタンクは背面より見た場合を示します)

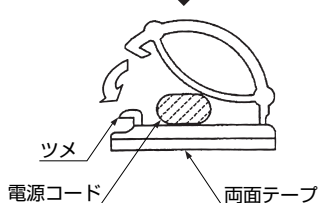
〈コンセントが右側 (便器正面より見たとき) の場合〉



〈コンセントが左側 (便器正面より見たとき) の場合〉

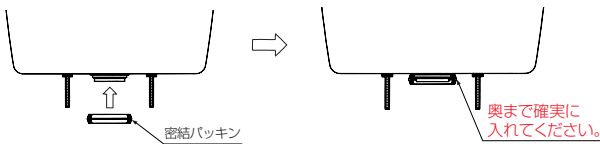


ツメがロックするまで押さえます



④ ロータンクの取り付け

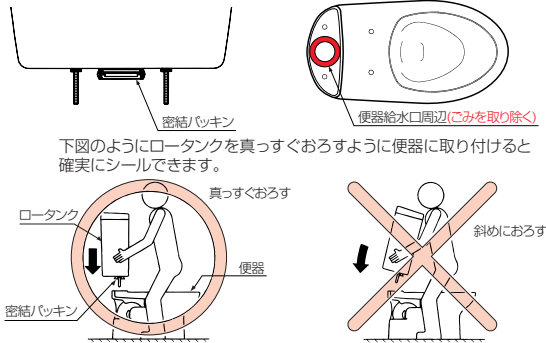
① ロータンクに密結パッキンを取り付ける。



注意 同梱の密結パッキンを上図のように取り付ける
正しく取り付けないと水漏れするおそれがあります。

② ロータンクを便器に取り付ける。

便器給水口周辺のごみなどを完全に取除いたあと、
ロータンクを便器に取り付けてください。



・密結パッキンおよび給水口周辺のごみを取り除く
水漏れするおそれがあります。
・ロータンクを斜めにおろさない
密結パッキンが正常に取り付かずシール不良で水漏れ
するおそれがあります。

③ ワンタッチナットでロータンクを固定する。

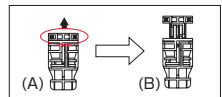


・左右のワンタッチナットを確実に締めること
左右のワンタッチナットがしっかり締まっていないと、水漏れ
して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

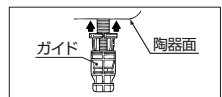
(1) つばが広がっていることを確認
します。



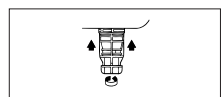
※(A)のとき、つばを引っ張り上げ
(B)の状態にします。



(2) つばの上面が陶器面に当たるまで
ボルトに差し込みます。



(3) ガイドを少し回しながら押し上げ
ます。



(4) 手締めで、「カチッ」と音がするまで
(クリック感があるまで)締め付け、
さらに、回らなくなるまでかたく
締め付けます。



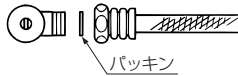
※再度、左右が確実に締まってい
ることを確認してください。

注意

ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行うこと。
工具を使用すると破損するおそれがあります。

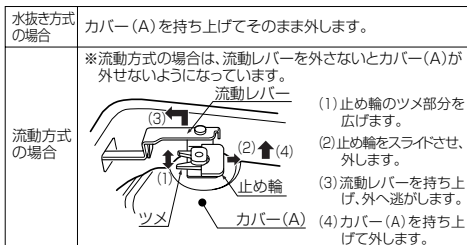
⑤ 給水フレキシホースと止水栓の接続

・給水フレキシホースにねじれ、折れなどのないよ
うに接続する。
・パッキンを右図の位置に必ず組み込む。



⑥ 止水位の確認

①カバー (A) をいったん外す。



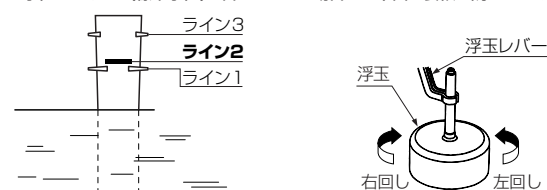
②手洗い連結管に手洗い金具を差し込む。
(手洗い付きロータンクの場合)

※手洗い金具を差し込まずに止水栓を開
くと水がふき出します。

④止水位がライン2 (標準水位) に合っ
ているか確認する。
止水位を確認したら手洗い金具を抜い
てタンクふたに取り付ける。

③止水栓を開く。

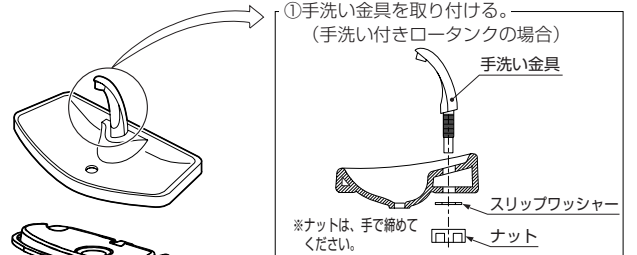
止水位がライン2 (標準水位) に合っていない場合のみ下図の要領で調整してください。



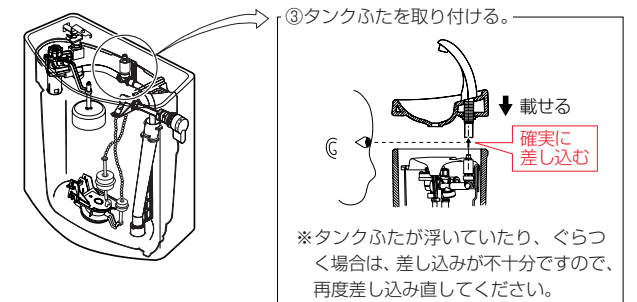
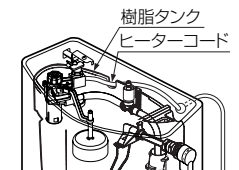
WL表示ラインは、オーバーフロー管
の3カ所に止水位をセットできる構造
になっていますが、水量に合わせて
所定の位置にセットして出荷してい
ます。

・右回し……止水位が下がります。
・左回し……止水位が上がります。

⑦ タンクふたの取り付け



注意 水抜き方式の場合、樹
脂タンクとカバーの間に
ヒーターコードを挟ま
ない
ヒーターコードが断線す
るおそれがあります。



注意 カバーやタンクふたなどは、確実に差し込む
水漏れの原因になります。

⑧ 取り付け完了後の確認

・2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
・水の出方が悪いときは、「⑨ フィルターの掃除」を参照して掃除を行う。

保守などについて

⑨ フィルターの掃除

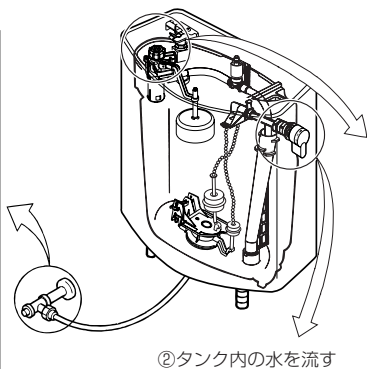
①止水栓を閉める。

⚠注意

フィルター掃除前に必ずお読みいただき手順を守る

手順を守らないと水漏れするおそれがあります。

フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉めタンク内の水を流してから行う
水圧でフィルターが飛び出すことがあります。



②タンク内の水を流す

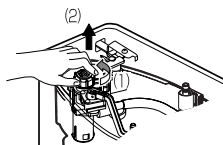
③タンクふたを外す。

⚠注意

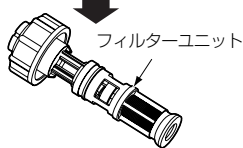
タンクふたは落下しないように注意する
割れることがあります。

④カバー(A)を手順⑥-①を参照し、外す。

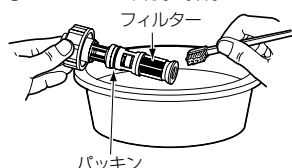
⑤フィルターを外す。



- (1) 左に回してください。
(抜けるまで回してください)
(かたい場合があります。かたい場合は、上部のマイナス形状部分にマイナスドライバーを差し回してください)
- (2) 引き抜いてください。



⑥フィルターの外側を掃除する。



※パッキンを傷つけないようにごみを取り除いてください。

⑦フィルターをつける。

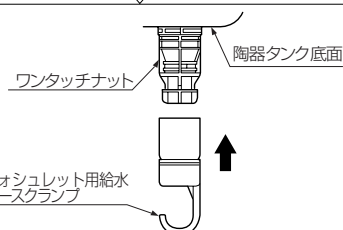
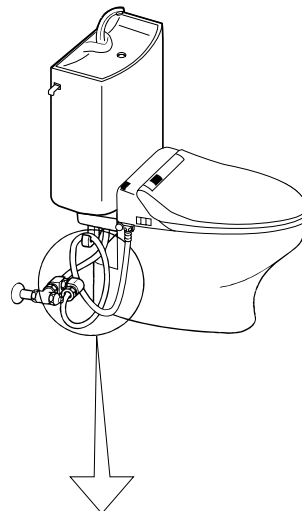
掃除後は、逆の手順でフィルターをつけてください。
フィルターは最後までしっかり締め付けてください。
※工具を使用しないでください。

⑧作動の確認。

手洗い連結管を手でふさいでから(手洗い付きロータンクの場合)止水栓を開き、正常に作動するか確認してください。

⑩ ウォシュレット用給水ホースクランプの取り付け(ウォシュレットが取り付けの場合)

ウォシュレット用給水ホースの収まりがよくないときは下図のように使用する。



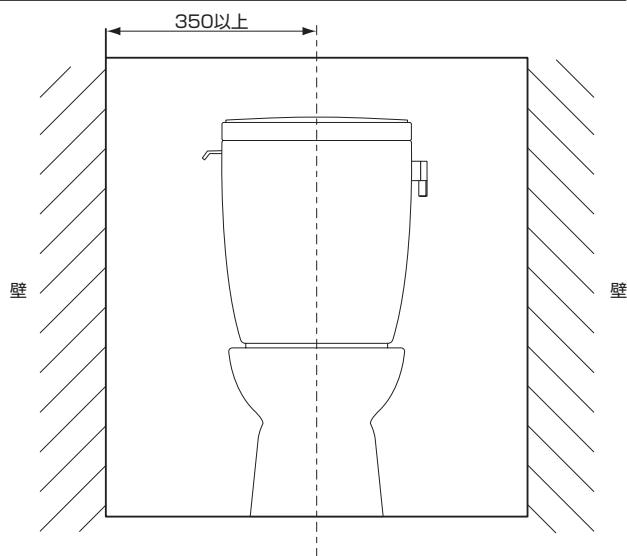
ウォシュレット用給水ホースクランプをワンタッチナットにはめ込みます。その後、ウォシュレット用給水ホースを引っ掛けてください。

流動仕様施工時の注意点

<流動仕様の場合>

⚠注意

陶器中心から壁まで最低350mm以上確保する
流動レバーが操作できない可能性があります。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※BL品(BLマーク証紙貼り付け品)において、当社が定める施工説明書などに基づく据付工事の瑕疵には(財)ベターリビングのBL保険が利用できます。

保険の詳細・お問い合わせは、下記ホームページをご覧ください。

(財)ベターリビング ホームページ…<http://www.cbl.or.jp/>

電話番号…03-5211-0559